

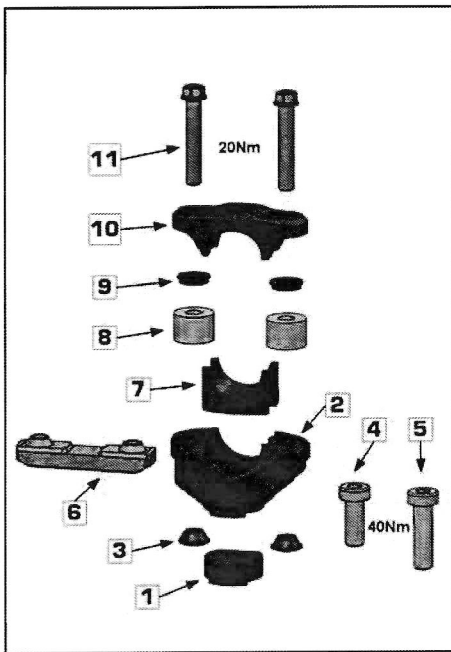
PHDS

PROGRESSIVE HANDLEBAR DAMPENING SYSTEM

XTRIG をお選びいただきありがとうございます。当社の製品はすべて、入手可能な最高の素材を使用し、最高水準で設計および製造されています。XTRIG 製品はレースで実証されており、究極のパフォーマンスを保証します。

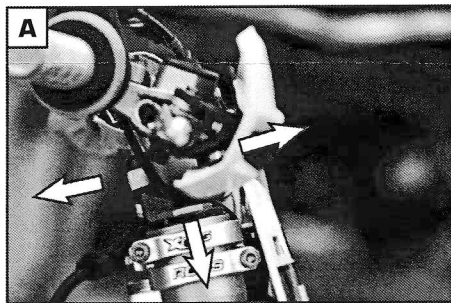
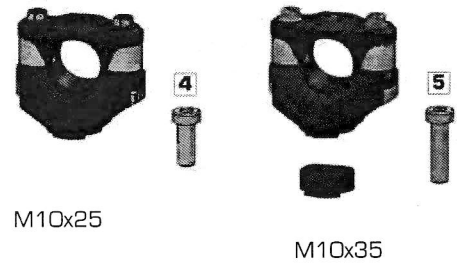
XTRIG は、製品の誤った組み立てや誤った使用については責任を負いません。

インストール手順に従ってください。最適な安全性と機能性を確保するには、専門家のアドバイスと認定 XTRIG ディーラーによる XTRIG 製品の正しい取り付けが不可欠です。ありがとう



納入品目：

- [1] 2x ハンドルバースペーサー
- [2] 2x ベースサポート
- [3] 4x コーンゴム
- [4] 2x ボルト M10x25
- [5] スペーサー用ボルト M10x35 2本
- [6] 2x クランプバー
- [7] ハンドルバー下部カップ 2個
- [8] 4x エラストマー イエロー / ミディアム
- [9] 中間ゴム 4本
- [10] 上部ハンドルバーカップ 2個
- [11] 4x ボルト M8x45 AF=10



機能性：

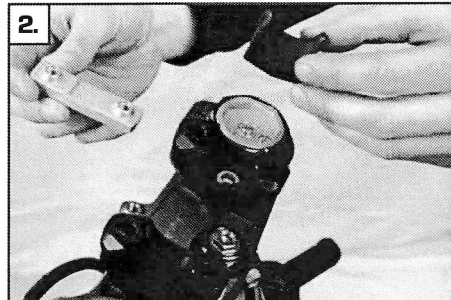
エラストマーを使用したプログレッシブハンドルバークランプ。エンジンや車体からの振動を吸収します。激しく激しい打撃が弱められます。ハンドルバーの精度は維持されます。モジュラー設計によりハンドルバーの位置を調整可能。交換可能なエラストマーを使用して調整を個別に調整できます [8]。ハンドルバーの減衰は矢印の方向 [Figure A]。

XTRIG Kit no.	Description	Hardness
50400010	Elastomer green	soft
50400011	Elastomer yellow	medium (standard)
50400012	Elastomer red	hard

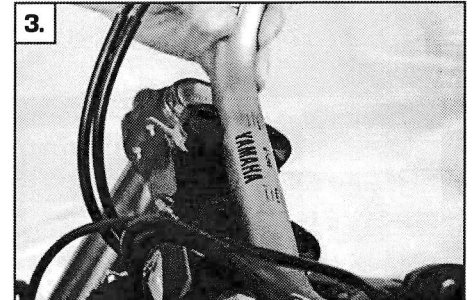
Mounting:



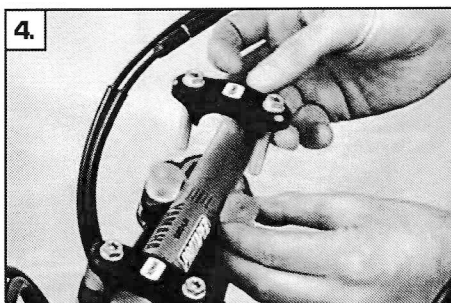
組み立て済みのラバーコーン [3] を備えたベースキャリア [2] をフォークブリッジ [M10x25] [4] にねじ込み、40Nm で締めます。必要に応じて、ハンドルバースペーサー [1] を追加しますが、M10x35 ボルト [5] を使用します。
注：オフセット方向が同じであることを確認してください。



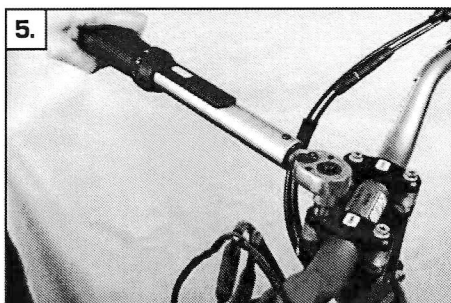
クランプバー [6] をベースサポート [2] に挿入し [コーンを上に向けて]、下部ハンドルバーカップ [7] をクランプバー [6] にはめ込みます。



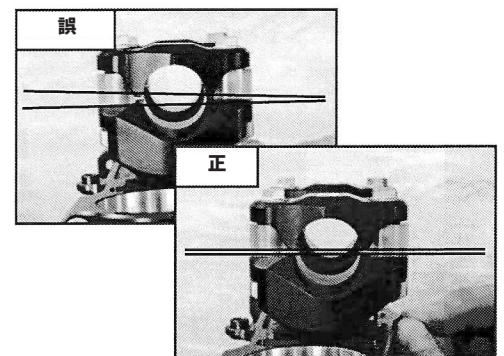
ハンドルバーを取り付け、希望の位置に移動します。



事前に組み立てられた中間ゴム [9]、ボルト M8x45 [11]、およびエラストマー [8] を使用して、上部ハンドルバーカップ [10] を取り付けます。



M8x45 ボルト [11] を均等にねじ込み、20 Nm で締めます。シェル間のクランプギャップ [7] + [10] が同じであることを確認してください [右の図を参照]



2 番目の面にも同じ手順を使用します。

! CAUTION

落下するたびに、PHDS に損傷がないか確認し、必要に応じて交換してください。ステアリングクランプの締め付けトルクは最大で 20Nm です。

注：M8x45 ボルト [11] を締めても、エラストマーの予圧は変化しません。組み立てが正しくないと、機能が制限される可能性があります。

XTRIG